

特集

「やってくる」 事前課題をつくらう！

従来型の授業では、教員が講義を行い、問題を課し、それを学生が解き知識を身につける、という形式でした。比較的「復習」が大事にされてきたと思われます。しかし、アクティブラーニングや反転授業の取り入れが進められるいま、学生には講義以前に自主的に知識を得、それを学生間で共有しながらお互いに学び合うということも求められています。比較的「予習」が重視されているということです。そこで大事なのが「事前課題」です。

講義で何を学んでほしいか、そのために事前にどんな知識や発想を身につけてほしいかを考えて、事前課題はつくられます。ですので、教員は準備段階から非常にエネルギーを割く必要があります。しかも、ただ課題を出したからといって、学生がやってこなければせっかくの授業研究も水の泡。事前課題づくりは、今までの授業計画以上に大変なことかもしれません。

今回は、事前課題の意義をふまえたうえで、授業、講義にはどのような事前課題が必要か、そして学生が「やってくる」事前課題にするにはどのような工夫が必要かを考えます。充実した授業には充実した事前課題が不可欠。皆さんが、少しでも「おもしろい」事前課題がつかれるようになれば幸いです。